

密集地・狭小地で活躍、運転席後方の“はみ出し”が少ない後方小旋回機

5トンのミニショベル『TB350R』を発売

小型建設機械を開発・製造・販売する株式会社竹内製作所(本社/長野県埴科郡坂城町、代表取締役社長/竹内敏也)は、ミニショベルの新製品『TB350R』を2023年3月より販売開始しますので、お知らせいたします。

当社が提供する小型建設機械は、衣食住の「住」に深く関わり、街づくりとそのメンテナンスに欠くことのできない製品として、毎日の暮らしを支えています。なかでも当社製品は、その掘削力のみならず、優れた耐久性と安定性、なめらかで直感的な操作性、長時間でも疲れにくい快適性や居住性などを強みとして、お客様の信認を得ております。

今回発表する『TB350R』は、90度旋回した時の運転席後方の“はみ出し”が少ない後方小旋回機です。狭小地や密集地でも、死角となる後方での接触事故を気にすることなく、オペレーターは存分にショベルを運転することができます。また、高い市場評価を得ている既存機種『TB250-2』をベースに開発され、確かな販売実績に裏付けられた利便性、信頼性を継承しました。

『TB350R』の市場投入により、当社の後方小旋回機は1トン級から5トン級まで出揃うことになり、豊富な製品ラインナップで市場シェアの拡大を図ります。

機種名	機械質量	機種名	機械質量
TB210R	1,075kg	TB325R	2,235kg
TB215R	1,535kg	TB335R	3,530kg
TB217R	1,605kg	TB350R	4,895kg



【TB350R】



上部体を90度
旋回させた状態

運転席後方の“はみ出し”が少ない

○ 『TB350R』の主な特長

(1) 後方小旋回機としては抜群の安定性

後方小旋回機と標準機では、重心が構造的に異なるため、掘削作業時の安定性は標準機の方が優れているのが一般的です。そこで、『TB350R』の開発では、重心を最適化することで、後方小旋回機としては抜群の安定性を確保しました。

(2) 標準機と同等の居住空間、なめらかで直感的な操作性

コンパクトな後方小旋回機でありながら、標準機である既存機種『TB250-2』と同等の広さのキャビンを実現しました。長時間作業でも疲れにくく、快適に運転することができます。また、当社製品は「意のままに、なめらかにコントロールできる操作性」を強みとしており、『TB350R』においても、既存機種同様の操作性を踏襲しています。

(3) TFM(Takeuchi Fleet Management) ※日本国内ではオプション装着

製品の稼働情報、位置情報、メンテナンス履歴などを遠隔監視し、故障はもちろん、万一の盗難時に即応できます。

◎ お問い合わせ先

株式会社竹内製作所 経営管理部 阪井 大志

〒389-0605 長野県埴科郡坂城町上平 205 TEL:0268-81-1200

以上